

1998年10月改訂(新様式第1版)

1997年8月改訂(自主改訂)

貯法：しゃ光・気密容器  
使用期限：容器、外箱に表示

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)1163
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

■ 133 ■

漢方製剤

ダイ ジョウ キ トウ

## ツムラ大承気湯エキス顆粒(医療用)

### 【組成・性状】

組成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.0gを含有する。	
	日局コウボク.....5.0g	日局ダイオウ.....2.0g
性状	日局キジツ.....3.0g	無水ボウショウ...1.3g
	剤形	顆粒剤
	色	黄かつ色
	におい	わずかに特異なにおい
	味	わずかな苦味
識別コード	ツムラ/133	

### 【効能又は効果】

腹部がかたくつかえて、便秘するもの、あるいは肥満体質で便秘するもの。  
常習便秘、急性便秘、高血圧、神経症、食当り

### 【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
  - (1)下痢、軟便のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。]
  - (2)著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。]
  - (3)著しく体力の衰えている患者[副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
- 重要な基本的注意
  - (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
  - (2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ダイオウを含む製剤との併用には、特に注意すること。
  - (3)ダイオウの瀉下作用には個人差が認められるので、用法及び用量に注意すること。
- 副作用  
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。  
消化器：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- 高齢者への投与  
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。
- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
  - (1)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれるダイオウ(子宮収縮作用及び骨盤内臓器の充血作用)、無水ボウショウ(子宮収縮作用)により流早産の危険性がある。]
  - (2)授乳中の婦人には慎重に投与すること。[本剤に含まれるダイオウ中のアントラキノン誘導体が母乳中に移行し、乳児の下痢を起こすことがある。]
- 小児等への投与  
小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]
- その他の注意  
本剤には無水ボウショウが含まれているので、治療上食塩制限が必要な患者に継続投与する場合には注意すること。

### 【包装】

500g、5kg(500g×10)、2.5g×42包、2.5g×189包、2.5g×1890包

### 【文献請求先】

株式会社ツムラ 商品情報センター  
東京都千代田区二番町12番地7 〒102-8422

